



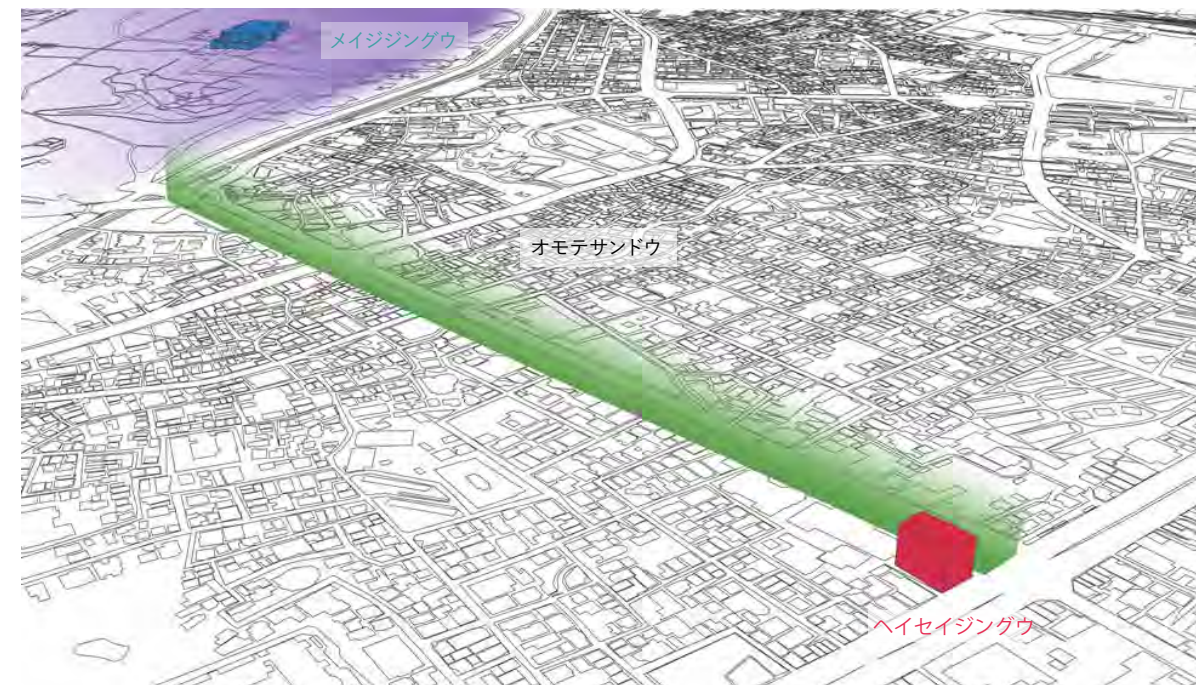
00 「着替える」建築

人は服を「**着替える**」ことで、毎日異なるデザインの服装なることができます。日々の気候や季節に合わせた服装になることができます。

私たちは、**ファッションストリート表参道**において、服のように『**着替える**』ことができる建築を提案します。そうすることで、四季折々の服装（ファサード）へと建築を着替えさせ、ファッションストリート表参道の顔であり続ける建築を目指します。

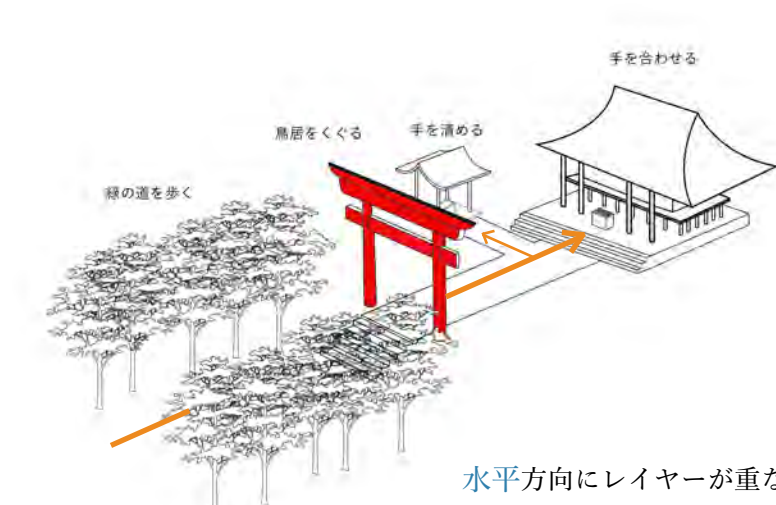


「一着の服装をするということは、社会に対する自分の意識を表現することだから」
by 山本耀司

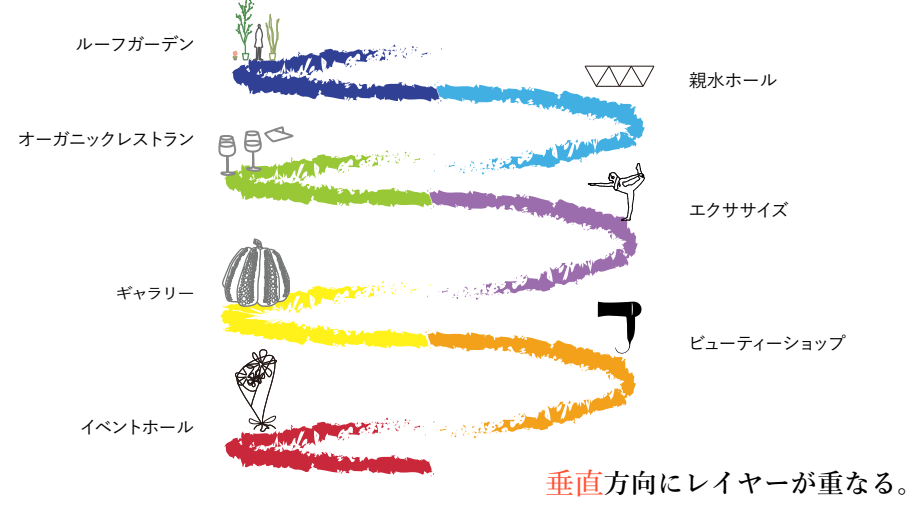


「**メイジジングウ**」は古くから、人々の心のよりどころでありました。私たちが提案する「**ヘイセイジングウ**」は、現代の人々の心と体を癒す場となります。表参道は、歴史と今を結ぶ新たな参道となります。

01 「メイジジングウ」と「ヘイセイジングウ」



水平方向にレイヤーが重なる。

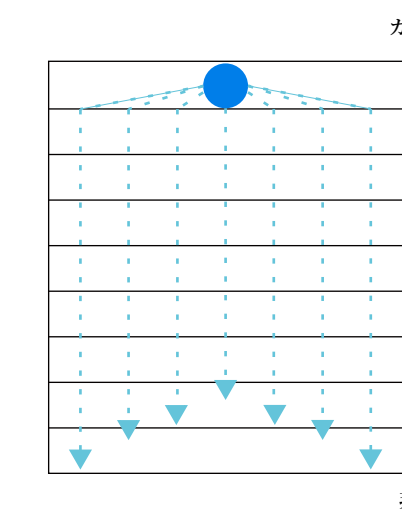


垂直方向にレイヤーが重なる。

表参道の終着点にある**メイジジングウ**は、本殿に向かう中で緑豊かな通りを歩き、鳥居をくぐり、手を清め、少しずつ来訪者を清めていきます。

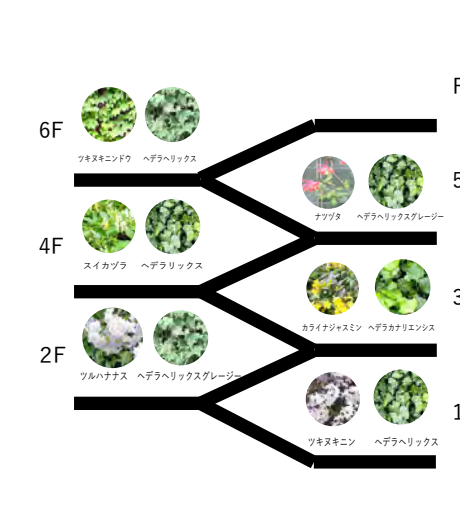
表参道の始発点となる**ヘイセイジングウ**は、めまぐるしく人々が行き交う通りからの喧騒を逃れ、訪れた人たちが上階に進む中で緑のペールをくぐり自然豊かな空間を体験し、だんだんと来訪者に癒しを与えていきます。

■ シャワー効果



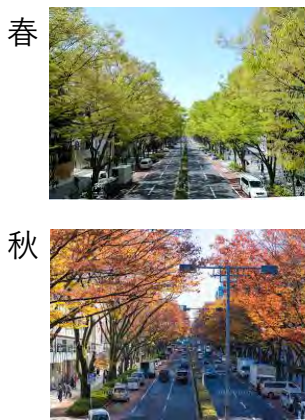
「**シャワー効果**」を用い、最上階に目的性の高い施設をつくり、そこで集客してから、水が下流のように各階に人を誘導します。

■ 各階の植物の種類



各階には異なる種類の植物が配置されていて、それぞれにテーマが設定されています。各階ごとの彩りがファサードに多様な表情を与えます。

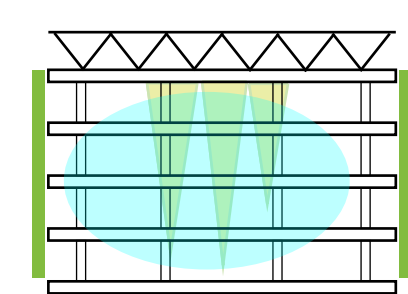
02 着替えのシステム



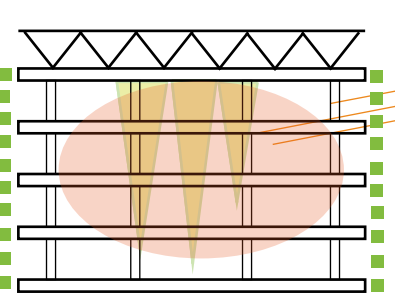
① 四季折々の服装

参道を彩るケヤキ並木は、季節の変化に応じて姿を変え、表参道に様々な表情を与えます。この建築もケヤキのように四季折々のデザインに着替え、季節によって異なる色、姿、香りを作り出し、来るたびに異なる体験を来訪者たちに与えることができます。

夏の厚着

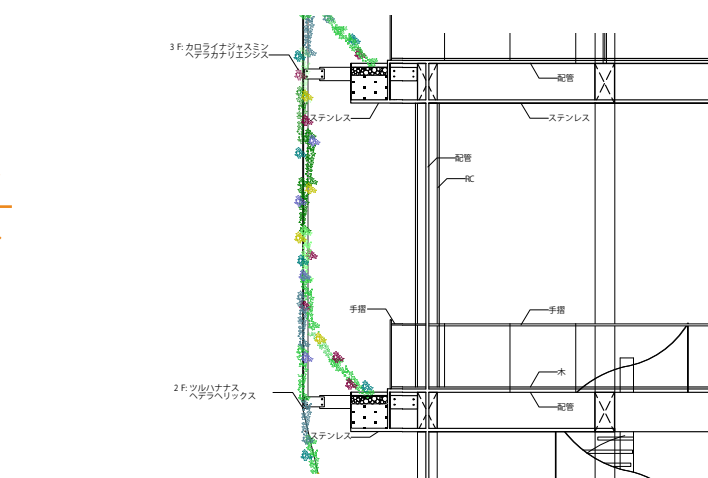


冬の薄着



② 夏の厚着と冬の薄着

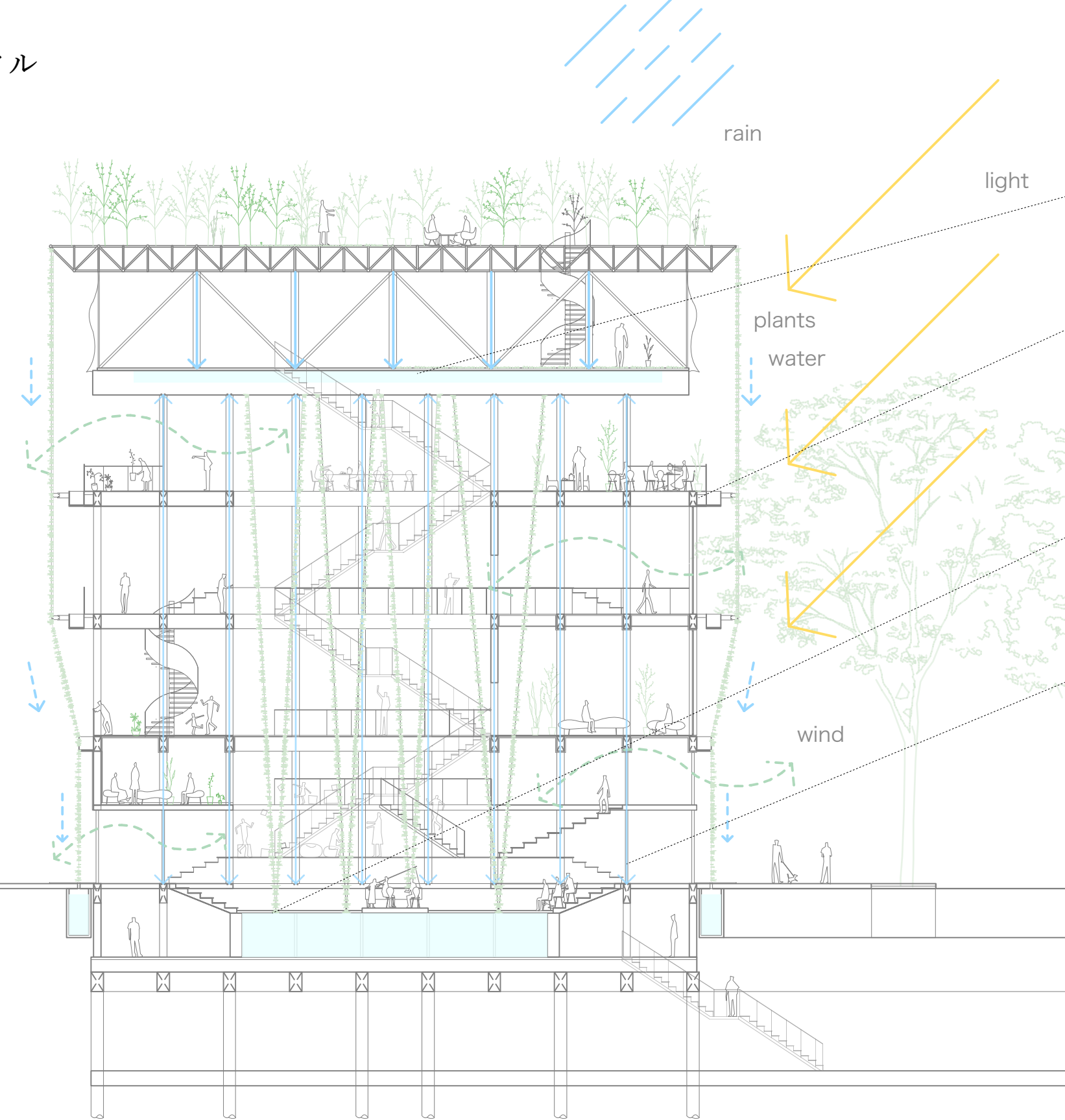
人は夏に**薄着**をして熱を逃がし、冬は**厚着**をして寒から身を守ります。この建物は、夏には緑が生い茂り厚着となり、冬は葉が落ちて薄着となります。夏の**厚着**は強い日差しを遮り、冬の**薄着**は暖かい日光を室内に取り込むことができ、建物内の環境を一年を通して快適な状態に保つ効果があります。



③ 緑のカーテンのディテール

緑のカーテンは、各階のスラブに「植木鉢」を設置し、そこから建物全体を覆うネットヘツタを伸ばすことで形作られている。また水の供給はスラブ内を通る配管から、各植木鉢に送り込まれる仕組みとなっている。

03 水の循環サイクル



①親水ホールの池は貯水タンクの役割を果たし、建物を覆う植物へと水を送る。

②水が各階のスラブの配管へと送られ植木鉢に水が供給される。

③水が地上まで下ると、地下貯水槽へ水が溜め込まれる。

④地下貯水槽に溜まった水は、再びポンプによって吸い上げられ、各階のスラブや柱の配管を経由し、内部環境を整えながら、親水ホールの池へと再び戻り循環していく。